

2017年3月8日

第59次南極地域観測隊夏隊員（エアロゾル観測担当）の募集（急募）

日本の南極観測は、南極観測事業として精力的に進められ、本年60周年を迎えました。現在、南極観測事業は、第9期6か年計画（2016年～2022年）に基づく観測粗推進しており、エアロゾル観測も長年続けられてきました。

本年11月末に出発する第59次南極地域観測隊でも、夏期行動期間に往路及び復路の船上のエアロゾル観測、昭和基地におけるエアロゾルゾンデ観測等（第9期南極観測事業一般研究観測 AP0910「全球生物地球化学的環境における東南極域エアロゾルの変動」代表者林政彦による）を実施します。現在、この観測業務に携わることのできる方を募集しております。

1. 業務

第59次南極地域観測隊夏隊員として、以下の観測に従事する。

- ・船上エアロゾル観測に関わる観測機器のメンテナンス等
- ・昭和基地におけるエアロゾルゾンデ観測
- ・昭和基地あるいは南極大陸上におけるエアロゾル等の無人航空機観測
- ・そのほか、自身の興味による研究テーマに関わる観測を南極観測事業の枠組みの中で行うことができる。

2. 期間

- ・第59次南極地域観測隊夏行動期間（2017年11月下旬～2018年3月下旬）
 - 11月下旬～12月中旬 船上観測（フリーマントルー昭和基地）
 - 12月下旬～2月初旬 地上観測、気球観測等（昭和基地および南極大陸上）
 - 2月中旬～3月20日過ぎ 船上観測（昭和基地ーシドニー）
- ・観測隊の訓練や打ち合わせ、観測準備のために6月以降、度々出張（国内）をしていただくこととなります。

3. 搭載予定機器

遠隔測定 シーロメータ、オリオルメータ

In-situ 計測 光学粒子計数装置、凝結核計数装置、ネフェロメータ、エサロメータ
CAPS-EXT、CAPS-ALB 等

エアロゾルサンプリング（分析は担当研究機関で行われる）

4. 条件

- 1) 勤の職についており、所属機関の承認を得て在職のまま観測隊に参加することが可能な方（出発時点の職を有したまま、文部科学大臣より第 59 次南極地域観測隊夏隊員の委嘱を受けることとなります。）
- 2) 上記観測に興味を持つ健康な方（健康診断による健康判定があります）
- 3) 装置の取り扱い経験の有無は問いません。取り扱い訓練を受けていただきます。

5. 応募受付

随時。

問い合わせのあった方から、順次詳細な説明をさせていただき、決まり次第、受付を締め切ります。

6. 問い合わせ先

林 政彦 福岡大学理学部地球圏科学科 教授（国立極地研究所 客員教授）

第 9 期南極観測事業一般研究観測 AP0910「全球生物地球化学的環境における東南極域エアロゾルの変動」代表

ただし、林政彦は、現在、58 次南極地域観測隊夏隊員として、南極地域出張中につき、直接の連絡がとれないようになっています。連絡先を福岡大学理学部 原圭一郎 (harakei@fukuoka-u.ac.jp)、あるいは、国立極地研究所 塩原匡貴 (shio@nipr.ac.jp) に問い合わせてください。